

# 地域ふれあい サイエンスフェスタ



ヒトの<sup>みみ</sup>耳には聞こえない<sup>ちょうおんぱ</sup>超音波という音を<sup>からだ</sup>体に当て、その<sup>はんしゃ</sup>反射を検知して

<sup>ないぞう</sup>内臓を見る検査が<sup>ちょうおんぱけんさ</sup>超音波検査です。<sup>びょういん</sup>病院では<sup>かんぞう</sup>肝臓や<sup>じんぞう</sup>腎臓の<sup>けんさ</sup>検査や、

<sup>かあ</sup>お母さんの<sup>おなか</sup>お腹の中にある<sup>あか</sup>赤ちゃんを見たいします。<sup>レントゲン</sup>レントゲン検査では<sup>ほね</sup>骨とか

<sup>はい</sup>肺を見たいしますが、<sup>レントゲン</sup>レントゲン検査は<sup>ほうしゃせん</sup>放射線を使うのであまりたくさん<sup>けんさ</sup>検査

すると<sup>からだ</sup>体に害があります。でも<sup>ちょうおんぱけんさ</sup>超音波検査は<sup>からだ</sup>体に害がありませんので、

<sup>なんど</sup>何度でも<sup>けんさ</sup>検査できます。<sup>びょういん</sup>病院では<sup>ちょうおんぱけんさ</sup>超音波検査は<sup>なかいかい</sup>お腹以外にも、<sup>しんぞう</sup>心臓、

<sup>にゅうせん</sup>乳腺、<sup>こうじょうせん</sup>甲状腺などを見るのに<sup>ひろ</sup>広く使われています。<sup>わたし</sup>私たちが<sup>しょうらい</sup>将来、

<sup>しんりょうほうしゃせんぎし</sup>診療放射線技師になって<sup>びょういん</sup>病院で働いたら、<sup>かんじゃ</sup>患者さんの<sup>ちょうおんぱ</sup>超音波

<sup>けんさ</sup>検査をします。この<sup>てんじ</sup>展示では、<sup>はじ</sup>まず初めに<sup>ファントム</sup>ファントムという<sup>じっけんどうぐ</sup>実験道具を使って<sup>とん</sup>とん

<sup>ふう</sup>な<sup>ふう</sup>風に<sup>ちょうおんぱかぞう</sup>超音波画像が見えるかをお見せします。<sup>つぎ</sup>次にもっと<sup>せいこう</sup>精巧な<sup>にんぎょう</sup>人形ファン

<sup>とん</sup>トムを使って、<sup>からだ</sup>体の中の<sup>なか</sup>肝臓、<sup>かんぞう</sup>胆嚢、<sup>たんのおう</sup>膵臓、<sup>すいぞう</sup>腎臓、<sup>じんぞう</sup>腎臓などの<sup>ないぞう</sup>内臓が

<sup>ちょうおんぱけんさ</sup>超音波検査で<sup>とん</sup>どんな<sup>ふう</sup>ふうに見えるかを<sup>み</sup>体験していただきます。

